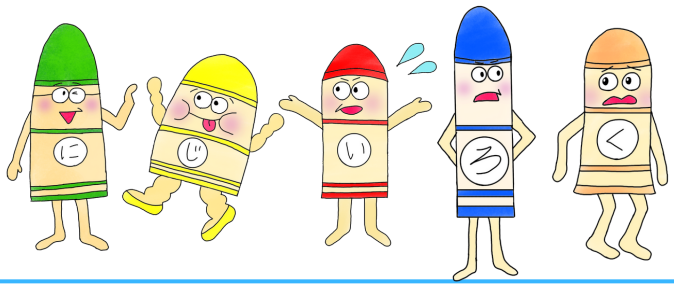
にじいろくれよん

PEER-N（ぴあん）

小学生、中高生

できた！をカタチに



にじいろくれよんとして

ぴあんのコンセプト

できた！をカタチに

ぴあんの目指すこと

伝えたいこと

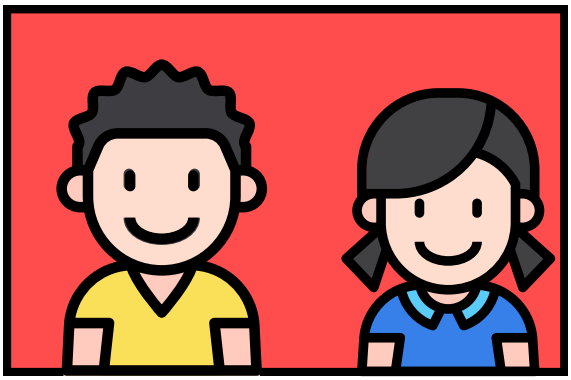
「できた！」というのを増やしていくのが幼少期の結果であり成果でありました。それから小学校に上がるにつれ、「できた！」が「なぜできた？」のかを考えていくステージに移っていくと考えています。

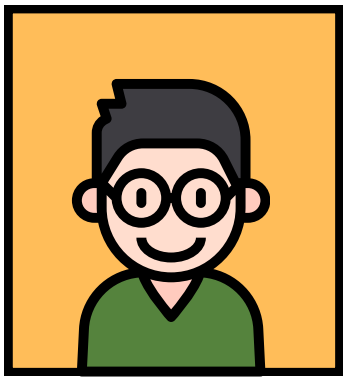
　それに伴い、「なぜできた？」を一緒に考え、それを彼ら彼女らの中でキチンとカタチにして残していくことが重要であるかと。

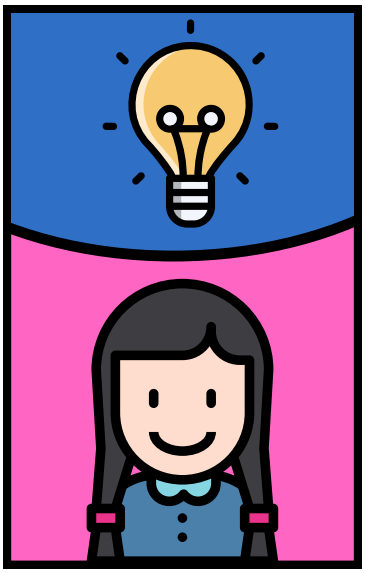
　カタチといっても形、象、容、貌、型、色んな漢字があるように、子どもさんによって、人の評価や自分なりの達成度合いや、モノづくり、音楽、絵イラストなど様々。

　そのさまざまなカタチをつくるサポートを一緒にできれば…という意味で、コンセプトが生まれました。

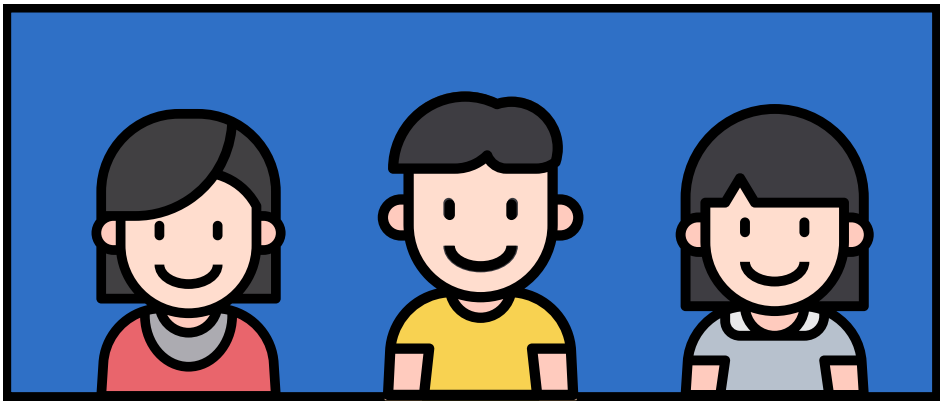
対象は？







小学１年～中学１年
対象



対象者	小学1年～中学1年生
時間	16時15分～17時45分 （15分幅あり、実質16時～18時）
曜日	月　火　水　木　金
送迎	親御さんにお願いしております。

ぴあんの７つのしかけ

1 宿題支援　学校の宿題をサポート

宿題は授業で学んだ内容を理解し、定着させるための貴重な機会です。サポートを提供することで、生徒は自信を持って学習に取り組むことができ、
成績を向上させることができます。宿題を手伝う際には、質問を通じて自ら考えさせることが大切です。そのようなサポートが、生徒の学習意欲を高め、将来につながる力を育むことにつながります。

2 瞑想　子供たちにもリラックス効果

心の平穏を養うことができ、集中力やストレス管理能力が向上するかもしれません。
瞑想は子供たちにとっても効果的なリラックス方法であり、日常生活での感情のコントロールや自己認識を高める手段として役立ちます。簡単な瞑想の練習を通じて、子供たちは自分自身とのつながりを深め、心身のバランスを整えることができるでしょう。

3 教科課題　国語・算数で遊ぼう

国語の問題を解いたり、算数の計算を楽しんだりすることで、脳を刺激し、学びを楽しむことができます。国語のリーディングや算数の問題解決を通じて、知識を深めながら、同時に論理的思考や創造性も育むことができます。

国語と算数は日常生活に密接に関わる重要なスキルですので、遊びながら学ぶことで、より興味を持って取り組めるかもしれません。是非、楽しみながら国語と算数を学ぶ時間を大切にしてくださいね！

4 メイン課題　お互いの学びが深まる仕掛け

　お互いの学びが深まる仕掛けを考えることは、私たちにとっても一番重要なことです。
学び合いや情報交換を通じて、一緒に成長し、共に学び合える環境を作ることをここでは考えます。

　一人ひとりが持つ知恵や経験を活かし合い、共に学び続けることで、より深い理解や洞察を得ることができるでしょう。みんなで協力し合いながら、お互いの成長を支え合う学びの輪を広げていきましょう。

一番人気課題　「はたらく細胞シアター」です！

5 小集団　4、5人の仲間で一緒に

　仲間との絆を深めながら、一緒に成長していく過程は非常に貴重なものです。学年を超えて、新たな挑戦に向かう勇気や励ましを与えてくれる仲間と共にいるのは心強いものです。

　少人数だからこそ、一人ひとりにスポットがあたりやすく、子どもたちにとっても打ち解けやすい環境であると考えます。
　一番まとまりやすいこの人数の仲間とともに楽しみましょう。

6 発表する　じぶんのしたことをみんなに伝える

④振り返り 5:35～5:43 (8分)	発表しよう 【①下書きする】 ・発表の3つの順番を確認。 【②発表する】 ・発表の4つのポイントを確認。 ・自分の発表についてどうだったかを、ワークブックで振り返る。

　これは重要なスキルです。
自分の言葉を正確に伝えることは、コミュニケーションを円滑にし、他人との理解を深めるのに役立ちます。
　得意だ！という子はあまりいないですが、自分の考えや感情を正確に表現すること、思いやりを持って伝えることで、より良い関係を築くことができるスキルを一緒に練習しましょう。

7 1対2　スタッフが2人に１人つきます

スタッフが2人に1人つくということで、より深いかかわりができます。その他にも、大学生や高校生のボランティアスタッフがいたりします。スタッフとともに楽しい時間を過ごしてくださいね。

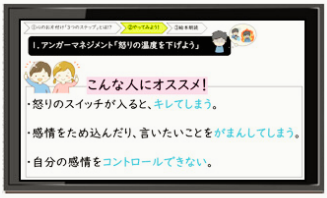
メイン課題の裏側へ

ぴあんでは、イロイロな学年の児童が共に時間を過ごします。年齢が違うからこそ、お互いの学びが深まるようなシカケやスタッフの想いが課題の中に込められています。
今回は、裏側を、コッソリのぞいてみましょう！

その①：散りばめられたイロイロなシカケ

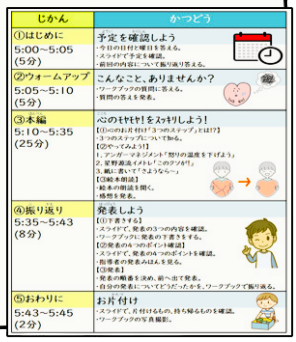
1．スライドで進行

指導者の声による指示や説明だけでなく、大きなスクリーンに、イラストや言葉を表示して進めます。
内容が**視覚的に理解しやすく**なります。



2．5つの場面転換

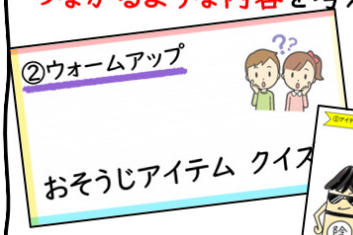
45分の構成は毎回同じ。
「これが終わったら次はこれ!」と、**見通しを持って**課題に取り組めます。



じかん	かつどう
①はじめに 5:00～5:05 (5分)	予定を確認しよう ・今日の日付と曜日を答える。 ・スライドで予定を確認。 ・前回の内容について振り返り答える。
②ウォームアップ 5:05～5:10 (5分)	こんなこと、ありませんか? ・ワークブックの質問に答える。 ・質問の答えを発表。
③本編 5:10～5:35 (25分)	ココロのモヤモヤ!をスッキリしよう! 【ココロのもんだい付け「3つのステップ」とは!?】 ・3つのステップについて知る。 【ためしてみよう!】 1. アンガーマネジメント「怒りの温度を下げよう」 2. 星野源流イメトレ!「このクソが!」 3. 風に乗って「さようなら～」 【③絵本朗読】 ・絵本の朗読を聞く。 ・感想を発表。
④振り返り 5:35～5:43 (8分)	発表しよう 【①下書きする】 ・スライドで、発表の3つの内容を確認。 ・ワークブックに発表の下書きをする。 【②発表のポイント確認】 ・スライドで、発表の4つのポイントを確認。 ・指導者の発表のようすを見る。 【③発表】 ・発表の順番を決め、前へ出て発表。 ・自分の発表についてどうだったかを、ワークブックで振り返る。
⑤おわりに 5:43～5:45 (2分)	お片付け ・スライドで、片付けるもの、持ち帰るものを確認。 ・ワークブックの写真撮影。

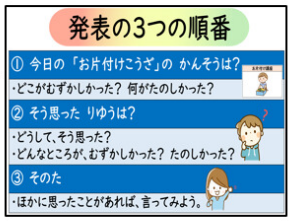
3．WU(ウォームアップ)のこだわり

本編の学習につながる前置き部分。
子どもの「知りたい!」「やりたい!」を刺激し、**本編にスムーズにつながるような内容**を考えます。



4．発表のこだわり

どうしても**苦手意識のある**発表の時間。
頭の中がグチャグチャになって「何を言えば?」をスパッと解決!
「発表の3つの順番」を提示することで、頭の中が整理され、自信を持って発表に挑めます。



【学年別の目標設定】
・低学年：高学年児童の発表を模倣することで、**発表のスキル**を身に付ける。
・高学年：低学年児童も理解できるように、**伝え方のスキル**を身に付ける。

5．ワークブック爆誕!

ぴあんで学んだことをおうちでも振り返りやすくするために、**2023年9月から試験的に作成**しています。
「メモする」「書く」ことで、頭の中が整理され、記憶されやすくなります。
記入したことを発表のネタとして使うこともできます。

メイン課題の内容は、大きく**「ものづくり系」と「講座系」**の2つに分かれています。
ゴールがはっきりしている「ものづくり系」が子どもたちには人気なのですが、日常生活で必要な様々なスキルを身に付ける「講座系」にも力を入れています。
ただ聞くだけの受け身の講座ではなく、子どもの「知りたい!」を引き出し、学んだことが子どもたちの生活で少しでも役立てば…という想いで課題を策定しています。

メイン課題の裏側へ　2

その②:「お片付け講座」に込めたオモイ

お片付け講座をやることになったけど、
お片付け苦手なのに、どうしよう・・・。
子どもたちに何をどう伝えたらいいんやろう？
あぁーー！**頭の中がｸﾞﾁｬｸﾞﾁｬ**する。何からやればいいの!?
最近、悲しいことが続いてて、
心の中もﾓﾔﾓﾔしてて立ち直れないし気力ゼロ。
あぁーー！部屋もホント汚いなぁ。(しぶしぶ片付け始める。)
あれ?**部屋をキレイにしたら、頭も心もなんだかｽｯｷﾘ!!**
Oh,そうか！この流れで、お片付け講座をやってみよう！

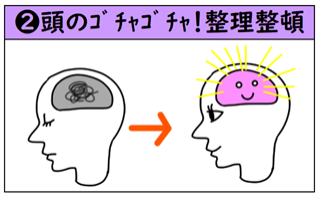
・・・というキッカケで、異例の2か月連続「お片付け講座」が開幕したのでした。

❶お部屋のｸﾞﾁｬｸﾞﾁｬ！整理整頓

学生スタッフが汚し役になり、床やTV画面等にゴミを巻き散らかすところからスタート。
子どもたちは**様々なおそうじアイテム**を駆使してキレイになる瞬間を楽しんでいました。

ホントにやりたいことを見失わず、実現してほしい!

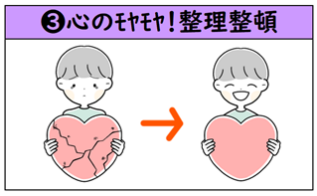
❷頭のｺﾞﾁｬｺﾞﾁｬ！整理整頓



「やるべきこと」が多すぎて何から手をつけたらいいのか頭がパニック！
「やりたいこと」を楽しむために、頭の中のタスクを丸ごと洗い出し。
付箋に書き出してランキングを考える作業にみんな夢中！

悪い感情なんてないんだよ。はき出していいんだよ。

❸心のﾓﾔﾓﾔ！整理整頓



悲しみや寂しさは心に蓄積されると**「怒り」**となって爆発します。
自分も大切な人も傷つかないように
安全にはき出す方法をみんなで
練習しました。

【子どもたちへのメッセージ】
　これからの人生の中で、「困った」「しんどい」「かなしい」に出くわした時に、**みんなで学んだことをふっと思い出して**もらえたらうれしいです。

　過去とその時が自分の中でつながり、**実際の学びへと成長する瞬間**なのだと思います。
　自分を感じ、自分で考え、生き抜いていく免疫力を少しでも身につけていってください。

日本全国に広がるんかな？
ネットワーク2024